

福井県に適するイネ-ルックサイレージ 専用品種

1 はじめに

イネホールクロップサイレージ（以下、イネWCS）の生産が拡大していますが、主に食用品種のため収量性が低くなっています。そこで、本県におけるイネWCS専用品種の有望品種を選抜しました。

2 中晩生品種「北陸 193 号」

出穂期は、同時期（4月下旬）に移植したコシヒカリの出穂期より 13 日遅い 8 月上旬です。またイネWCS用稲の収穫時期である黄熟期（出穂後約 30 日）は 9 月上旬です。原物収量は 10 a あたり 5.8 トン、乾物収量は 2.2 トンです。全長は 122cm でコシヒカリよりわずかに低いです。黄熟期における茎葉部の乾物中糖含量は 3% で、発酵品質を示す V2 スコアは 88 点と高く良質です。

3 晩生品種「はまさり」

出穂期はコシヒカリより 34 日遅い 8 月下旬で、収穫時期は 9 月下旬です。原物収量は 10 a あたり 5.0 トン、乾物収量は 1.7 トンです。全長は 121cm でコシヒカリよりやや低いです。黄熟期における茎葉部の乾物中糖含量は約 4% と多く、V2 スコアは 97 点ととても高く発酵品質は良質です。

4 晩生品種「リーフスター」

出穂期はコシヒカリより 34 日遅い 8 月下旬で、収穫時期は 9 月下旬でした。原物収量は 10 a あたり 5.2 トン、乾物収量は 2.0 トンでした。全長は 134cm でコシヒカリより 9cm 長くなりましたが倒伏はしませんでした。黄熟期における茎葉部の乾物中糖含量は約 3% と多く、V2 スコアは 100 点ととても高く発酵品質良質でした。

5 技術の効果

北陸 193 号は遅植えコシヒカリ（5月中旬移植、9月中旬収穫）の刈取前に収穫でき、はまさり、リーフスターは遅植えコシヒカリの刈取後に収穫できます。コシヒカリより北陸 193 号では約 4 割、リーフスターでは約 3 割、はまさりでは約 1 割増収することができます。（畜試 資源活用 G 牧田）

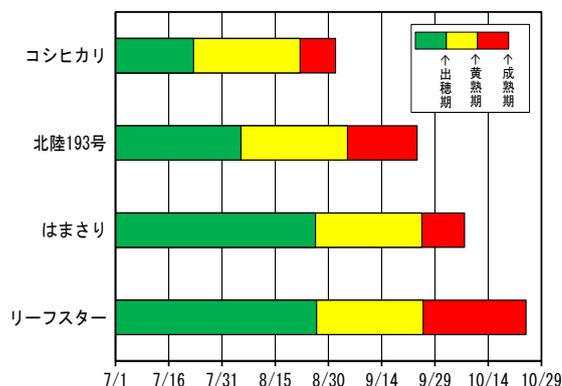


図 1 各品種の出穂期と黄熟期

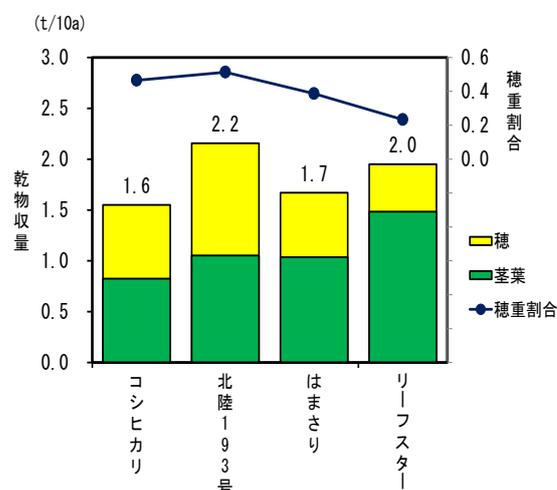


図 2 各品種の乾物収量と穂重割合

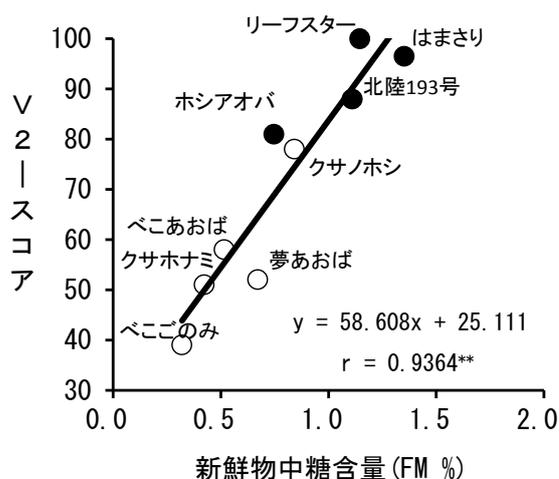


図 3 糖含量と発酵品質